

平成31年度 事業報告書

1 慰霊事業

(1) 第40回特攻隊全戦没者慰霊祭

平成31年3月30日(土)11時より、靖國神社に於いて実施した。参列者は221名で、昨年を40名ほど下回ったが、済々と実施され、英霊への慰霊の誠を奉げることができた。慰霊祭後、遊就館前に有る「特攻勇士の像」への献花を行い、引き続き靖国会館に於いて顕彰会の状況説明及び懇親会を実施した。

(2) 第68回特攻平和観音年次法要

9月23日(月、祝)秋分の日午後2時より、世田谷山観音寺に於いて、同寺と地元駒繫神社とによる神仏習合による年次法要が実施され、当顕彰会は同法要に全面協力をし、整齊たる法要の実施に寄与した。参列者は、例年並みの総勢215名であり、特に問題もなく整齊と実施できた。

(3) 各地慰霊祭への参列等

台風の影響で慰霊祭の中止等があったが、以下の41か所に代表者を派遣した。

(時期)	(慰霊祭名)	(場所)	(参列代表者)
3月21日	神雷部隊慰霊祭	鎌倉市北鎌倉	金子編集長
4月06日	都城特攻慰霊祭	宮崎県都城市	原評議員
4月06日	鹿屋特攻慰霊祭	鹿児島県鹿屋市	石井専務理事
4月07日	宮崎特攻基地慰霊祭	宮崎県宮崎空港横	原島評議員
4月13日	鹿児島護国神社創設150年祭	鹿児島県鹿児島市	藤田理事長
4月14日	萬世特攻慰霊祭	鹿児島県南さつま市	金子編集長
4月16日	出水市特攻慰霊祭	鹿児島県出水市	福江評議員
4月21日	国分特攻基地慰霊祭	鹿児島県霧島市	岩崎副理事長
4月22日	靖國神社春季例大祭	東京都靖國神社	杉山会長
4月23日	沖縄県特攻像慰霊祭	沖縄県那覇市	藤田理事長
4月29日	秋田県特攻隊慰霊祭	秋田県秋田市	岩崎副理事長
5日03日	知覧特攻慰霊祭	鹿児島県南九州市	岡部理事
5月11日	福岡県特攻像慰霊祭	福岡県中央区	福江評議員
5月12日	特攻殉国の碑慰霊祭	長崎県川棚町	石井専務理事
5月19日	若櫻の碑慰霊祭	三重県津市香良洲町	鮎田理事
5月19日	特攻勇士之像慰霊祭	京都府東山区	岩崎副理事長

5月26日	筑波海軍航空隊慰霊祭	茨城県笠間市	水町理事
5月26日	特攻勇士之像慰霊祭	千葉県千葉市	岩崎副理事長
5月27日	哀惜の碑追悼慰霊式	鹿児島県指宿市	石井専務理事
6月02日	豫科練戦没者慰霊祭	茨城県阿見町	鮎田理事
6月08日	義烈空挺隊慰霊祭	沖縄県糸満市	石井専務理事
6月15日	能代特攻像慰霊祭	秋田県能代市	石井専務理事
7月06日	大東亜慰霊協慰霊祭	靖國神社	藤田理事長
7月17日	錨地蔵尊御霊祭	山形県東田川郡	衣笠会員
8月15日	十三塚原特攻隊慰霊祭	鹿児島県霧島市	倉形評議員
8月15日	全国戦没者慰霊大祭	靖國神社	杉山会長
8月25日	戦没学徒慰霊祭	広島護國神社	金子編集長
9月08日	高野山慰霊祭	和歌山県高野町	岡部理事
9月11日	市ヶ谷台慰霊祭	防衛省市ヶ谷駐屯地	水町理事
10月10日	特攻勇士之像慰霊祭	長野縣護國神社	倉形評議員
10月18日	秋季例大祭	靖國神社	杉山会長
10月18日	秋季慰霊祭	千鳥が淵墓苑	杉山会長
10月19日	靖國神社創建150周年	靖國神社	藤田理事長
10月19日	明野忠魂塔慰霊祭	伊勢市小俣町	倉形評議員
10月25日	神風特攻戦没者慰霊祭	愛媛県西条市	宮本評議員
10月25日	神風特攻隊慰霊碑参拝	比島マバラカット	岡部理事
10月27日	大東亜戦没学徒慰霊祭	靖國神社	及川評議員
10月27日	特攻勇士之像慰霊祭	大阪市住之江区	石井専務理事
10月31日	特攻勇士之像慰霊祭	さいたま市大宮区	臼田理事
11月11日	回天大津島慰霊祭	山口県周南市	鮎田理事
11月23日	若潮の塔慰霊祭	香川県小豆島	金子編集長

2 護國神社への「特攻勇士之像」建立奉納事業

平成31年度は、宮崎・三重の両護國神社に奉納予定であったが、三重県については神社側の都合により令和2年度に延期になったため、宮崎懸護國神社のみへの奉納となった。この結果、平成31年度までで、全52か所護國神社等に対する奉納特攻像は19体となった。また、令和2年度以降の奉納に向けて、岩手、高知、広島、備後、姫路等の護國神社に対する説明も行った。今後も引き続き他の護國神社への説明を継続し、事前調整等準備を周到にして、多くの国民が、特攻像を見ることにより、特攻隊員に対する慰霊・顕彰の気持ちを持てるような環境作りに努力する。

3 募集広報

広報業務では、公益紙としての機関誌・会報「特攻」123号～127号の5ヶ号を発行し、会員・協力団体及び希望者に配布・頒布した。また、平成31年は昭和19年に特攻作戦が開始されて75周年であることから、一般紙（産経新聞）に募集広告を2回掲載した。さらに、会の名称の普及、及び、若手会員の募集を狙って自衛隊向けの広報紙等に広告を出している。

4 会員の動向

新聞広告の効果もあり、平成31年度における新規入会者は昨年より54名増加の140名であった。一方、退会者は会費未納3年による会員資格喪失が236名と、例年の3倍近くにのぼり、これと逝去等による退会も併せて、退会者が343名となったため、平成31年度末会員数は昨年度より203名減少し、1473名となった。

会員の減少傾向は、会の年齢構成から見れば今後も厳しい状況が継続するものと思われる。令和2年度は会の魅力化による会員のつなぎ止めに努めるとともに、役員等を中心として、特に若手会員の獲得を重視して募集業務に精励し会勢の挽回を期したい。